

(一社)北海道商工会議所連合会 中小企業景況調査報告書

第175回 調査概要

- ・調査対象期間 : 2024年7~9月期 実績
2024年10~12月期 見通し
- ・回答数 : 364社
- ・発行日 : 2024年11月 20 日

今期業況・来期見通し

人口減少や人手不足、物価高騰を背景に、業況および従業員のDIが悪化。地域経済の維持を危ぶむ声や、対策としてのDX対応・外国人労働者との共生に関するコメントが多く寄せられた。

■主なコメント

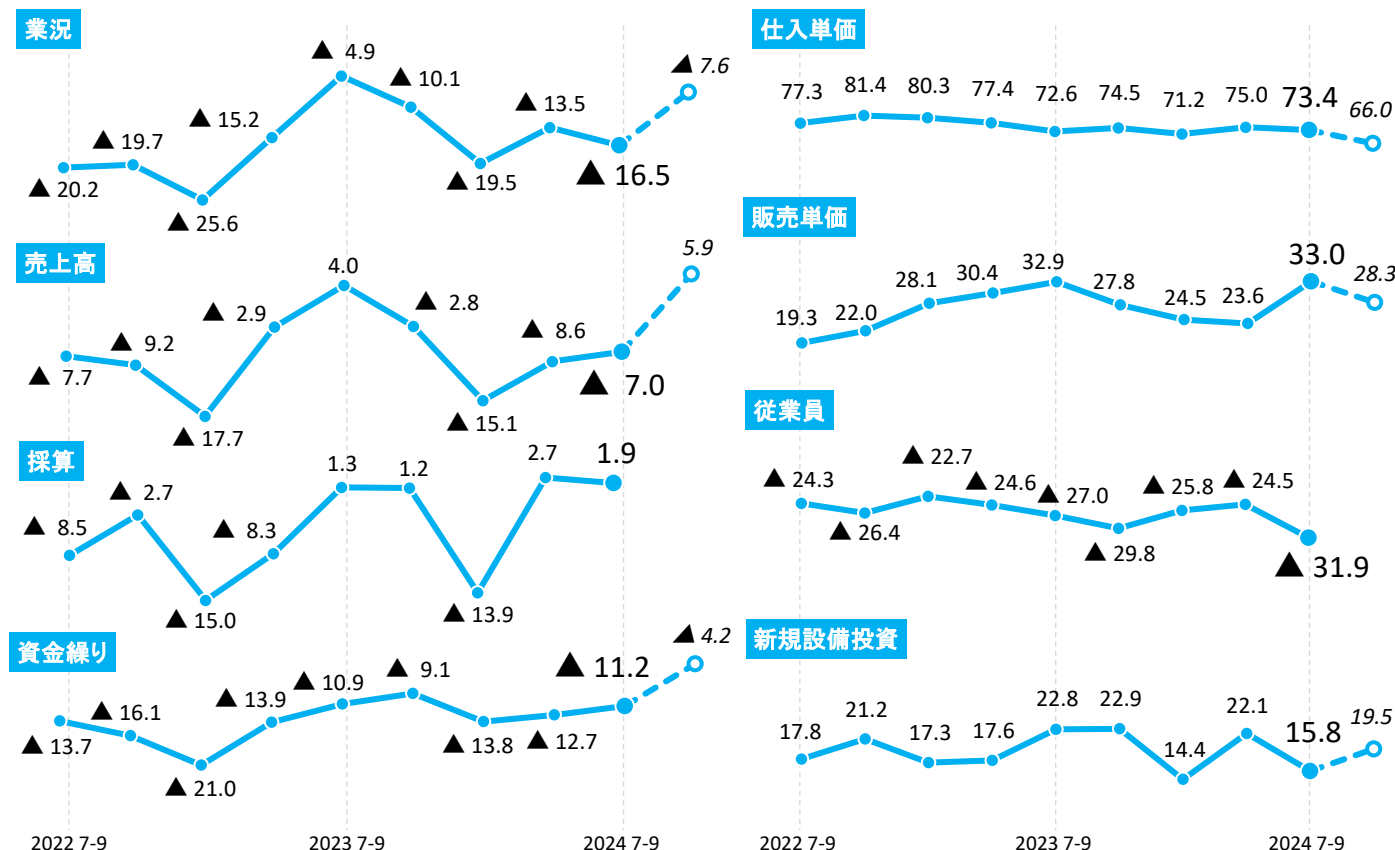
- ・人手不足は深刻で、特に技能者は高齢化もあり、減少が加速度的である。その上に、労働時間外規制の改定や休日の増加が年収の減収につながっている。発注者(自治体等)は、請負者の適正利潤の確保の真剣に取り組むべき。(土木建設業)
- ・市の公共工事が減少し、業況はよくない。また、どこへ行っても人手不足の声が上がっている。70代後半の技術者が現役で働いているが、5年後を考えると業界がどうなるか不安。人を増やすことを優先してほしい。(建設業)
- ・若者の採用は常に重要な課題であり続けてきたが、この先は人口減・少子高齢化が加速するため、産業・社会・国家の構造や在り方も視野に議論し、他国籍の人々とも協調して共に働ける環境を創る事が重要と感じる。(配管工事業)

■全産業D・I

	2022 7-9	2022 10-12	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12(見通)
業況(前年同期比)	▲ 20.2	▲ 19.7	▲ 25.6	▲ 15.2	▲ 4.9	▲ 10.1	▲ 19.5	▲ 13.5	▲ 16.5	▲ 7.6
売上高(前年同期比)	▲ 7.7	▲ 9.2	▲ 17.7	▲ 2.9	4.0	▲ 2.8	▲ 15.1	▲ 8.6	▲ 7.0	5.9
採算(今期の経常損益)	▲ 8.5	▲ 2.7	▲ 15.0	▲ 8.3	1.3	1.2	▲ 13.9	2.7	1.9	-
資金繰り(前年同期比)	▲ 13.7	▲ 16.1	▲ 21.0	▲ 13.9	▲ 10.9	▲ 9.1	▲ 13.8	▲ 12.7	▲ 11.2	▲ 4.2
仕入単価(前年同期比)	77.3	81.4	80.3	77.4	72.6	74.5	71.2	75.0	73.4	66.0
販売単価(前年同期比)	19.3	22.0	28.1	30.4	32.9	27.8	24.5	23.6	33.0	28.3
従業員(今期の過不足)	▲ 24.3	▲ 26.4	▲ 22.7	▲ 24.6	▲ 27.0	▲ 29.8	▲ 25.8	▲ 24.5	▲ 31.9	-
新規設備投資した割合	17.8	21.2	17.3	17.6	22.8	22.9	14.4	22.1	15.8	19.5

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。

○ 来期見通



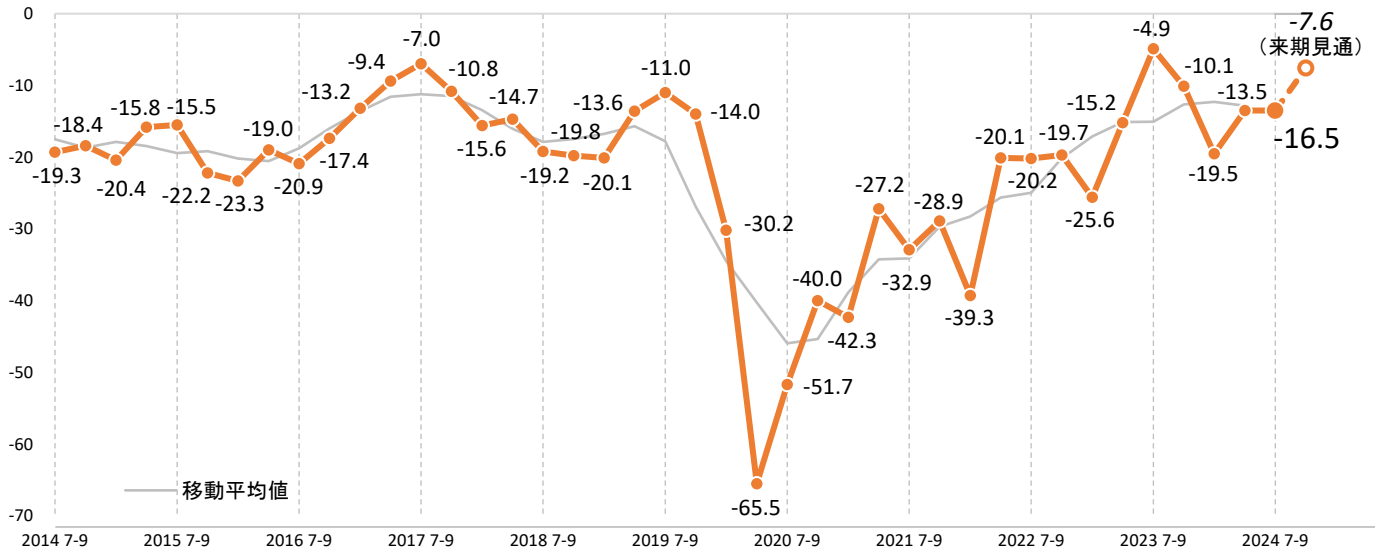
I. 業況

1. 今期

前年同期比

(2023年7~9月期の水準と比較した今期の業況)

全業種平均D・I 《好転—悪化》



業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		好転	不変	悪化	
全業種	▲ 16.5	12.6%	58.3%	29.1%	▲ 13.5
製造	▲ 19.6	17.9%	44.6%	37.5%	▲ 16.9
建設	▲ 15.1	8.2%	68.5%	23.3%	▲ 15.1
卸売	▲ 16.4	12.7%	58.2%	29.1%	▲ 19.6
小売	▲ 21.2	10.6%	57.6%	31.8%	▲ 8.7
サービス	▲ 10.5	13.5%	62.5%	24.0%	▲ 7.3

■好転 □不変 ■悪化

前期比

(2024年4~6月期の水準と比較した今期の業況)

業種別D・I値

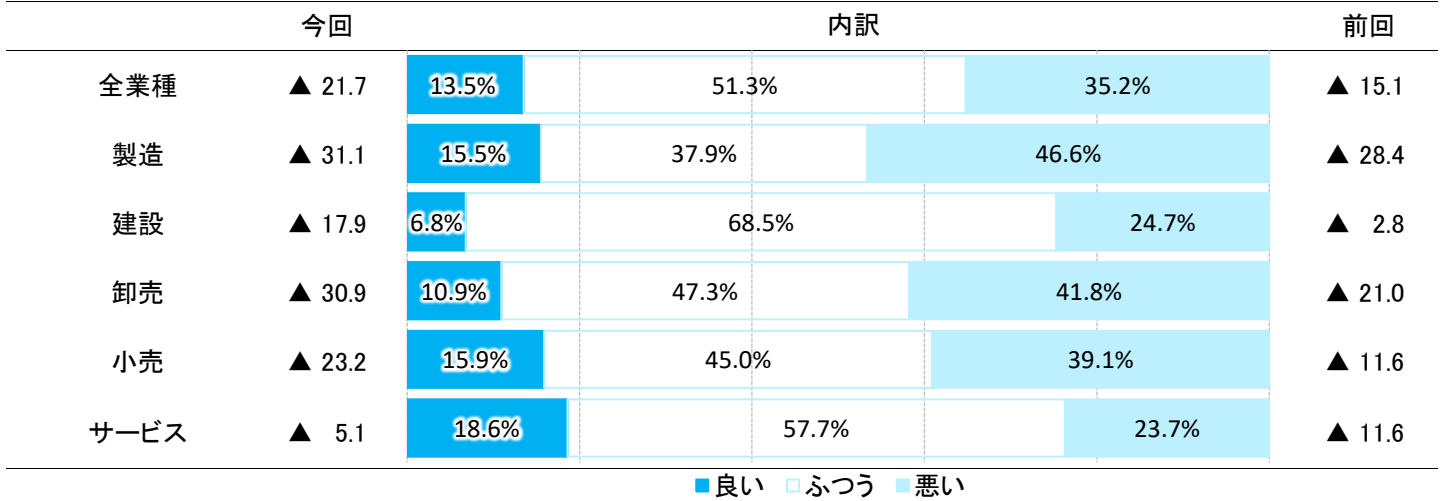
業種	今回	内訳			前回
		好転	不変	悪化	
全業種	▲ 10.4	14.7%	60.2%	25.1%	▲ 7.9
製造	▲ 18.1	16.4%	49.1%	34.5%	▲ 8.9
建設	▲ 8.2	8.2%	75.4%	16.4%	▲ 15.7
卸売	▲ 12.7	18.2%	50.9%	30.9%	▲ 14.3
小売	▲ 10.8	13.8%	61.6%	24.6%	▲ 4.5
サービス	▲ 2.1	16.8%	64.3%	18.9%	4.3

■好転 □不変 ■悪化

今期の水準

(2024年7~9月期の水準)

業種別D・I値

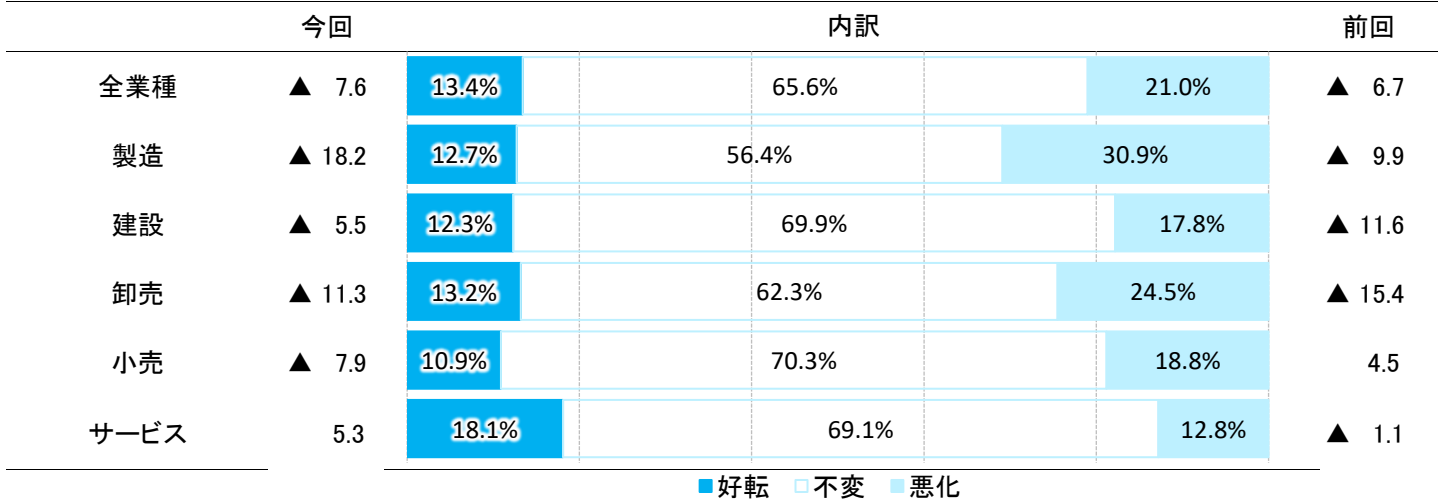


2. 来期

前年同期比

(2023年10~12月期の水準と比較した来期の見通し)

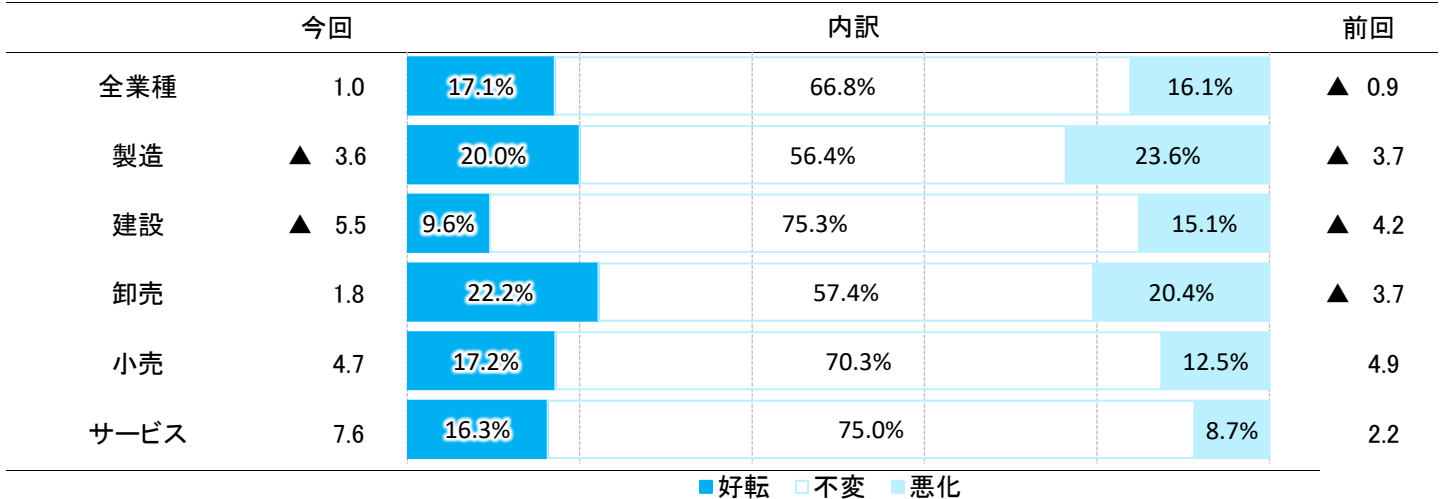
業種別D・I値



今期比

(2024年7~9月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値



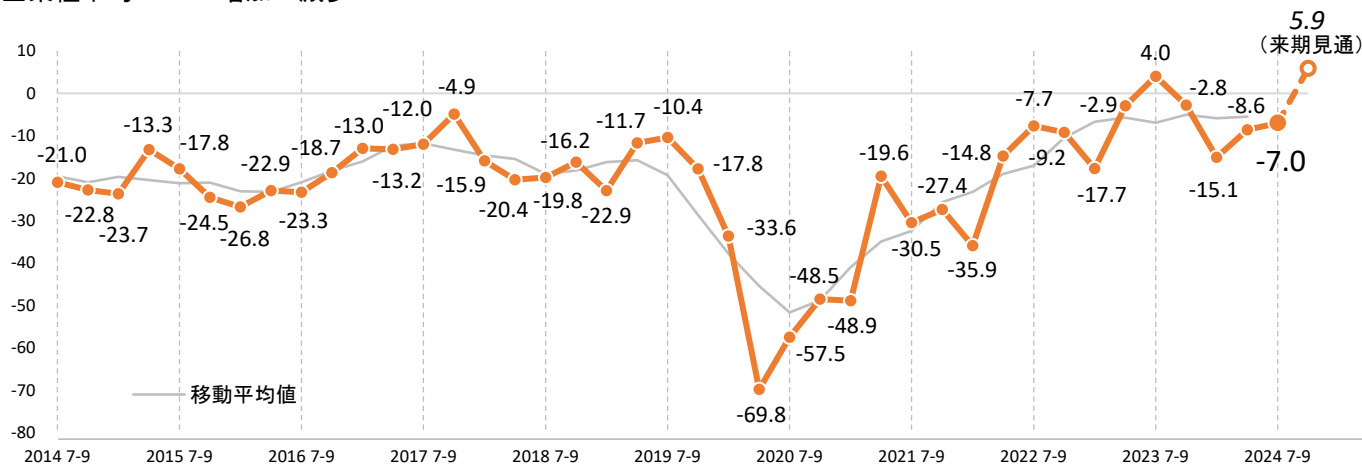
Ⅱ. 売上高

1. 今期

前年同期比

(2023年7～9月期の水準と比較した今期の売上高)

全業種平均D・I ≪増加－減少≫



業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	▲ 7.0	26.0%	41.0%	33.0%	▲ 8.6
製造	▲ 17.2	27.6%	27.6%	44.8%	▲ 26.6
建設	▲ 13.7	16.4%	53.5%	30.1%	▲ 4.2
卸売	▲ 5.4	27.3%	40.0%	32.7%	▲ 24.6
小売	▲ 5.8	29.0%	36.2%	34.8%	7.3
サービス	7.2	29.9%	47.4%	22.7%	5.2

■増加 □不変 ■減少

前期比

(2024年4～6月期の水準と比較した今期の売上高)

業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	0.6	29.0%	42.6%	28.4%	5.5
製造	▲ 14.0	24.6%	36.8%	38.6%	▲ 3.6
建設	6.9	24.7%	57.5%	17.8%	4.3
卸売	▲ 3.7	32.7%	30.9%	36.4%	0.0
小売	5.8	33.3%	39.2%	27.5%	17.4
サービス	8.3	29.9%	48.5%	21.6%	9.5

■増加 □不変 ■減少

2. 来期

前年同期比

(2023年10～12月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	5.9	26.6%	52.7%	20.7%	▲ 3.3
製造	▲ 7.2	21.4%	50.0%	28.6%	▲ 11.1
建設	1.4	22.2%	57.0%	20.8%	▲ 18.1
卸売	12.9	33.3%	46.3%	20.4%	▲ 5.3
小売	8.8	27.9%	53.0%	19.1%	11.8
サービス	13.7	28.4%	56.9%	14.7%	6.3

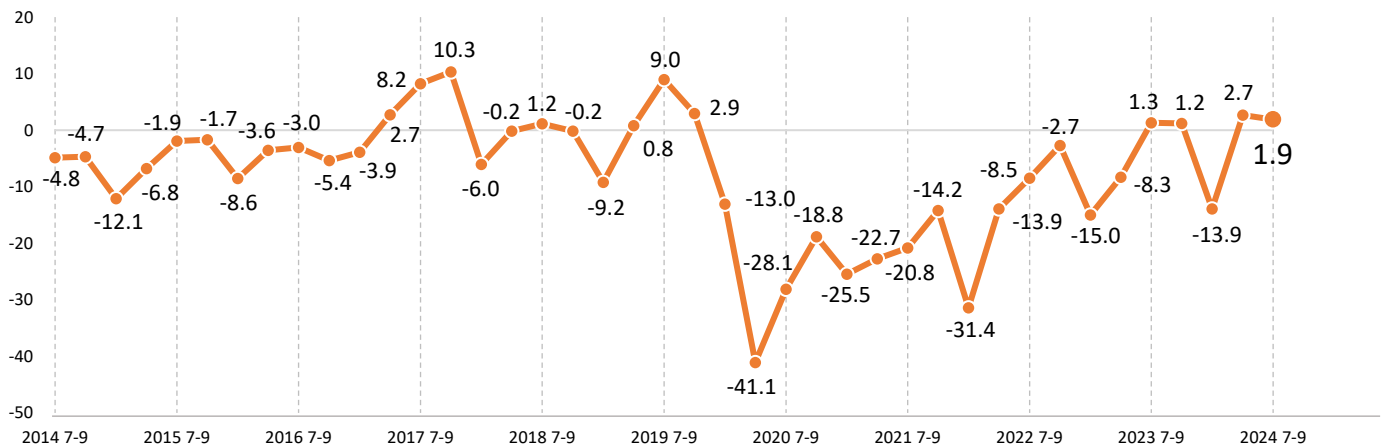
■増加 □不変 ■減少

Ⅲ. 採算(経常利益)

1. 今期

今期の水準 (2024年7~9月期の水準)

全業種平均D・I ≪黒字-赤字≫



業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	1.9	23.7%	54.5%	21.8%	2.7
製造	▲ 5.2	22.4%	50.0%	27.6%	3.3
建設	13.8	31.9%	50.0%	18.1%	11.2
卸売	▲ 3.6	20.0%	56.4%	23.6%	▲ 7.0
小売	▲ 5.9	16.2%	61.7%	22.1%	0.0
サービス	10.3	27.8%	54.7%	17.5%	6.3

■黒字 □収支トントン ■赤字

前年同期比 (2023年7~9月期の水準と比較した今期の採算)

業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 22.1	10.6%	56.7%	32.7%	▲ 20.8
製造	▲ 36.2	12.1%	39.6%	48.3%	▲ 26.7
建設	▲ 16.9	11.3%	60.5%	28.2%	▲ 19.2
卸売	▲ 20.0	9.1%	61.8%	29.1%	▲ 26.3
小売	▲ 17.9	9.0%	64.1%	26.9%	▲ 11.6
サービス	▲ 19.6	11.3%	57.8%	30.9%	▲ 20.0

■好転 □不変 ■悪化

2. 来期

前年同期比 (2023年10~12月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 11.1	12.9%	63.1%	24.0%	▲ 14.7
製造	▲ 26.3	10.5%	52.7%	36.8%	▲ 18.5
建設	▲ 5.6	12.7%	69.0%	18.3%	▲ 24.0
卸売	▲ 11.0	14.5%	60.0%	25.5%	▲ 21.0
小売	▲ 4.5	11.9%	71.7%	16.4%	3.0
サービス	▲ 8.5	14.7%	62.1%	23.2%	▲ 13.2

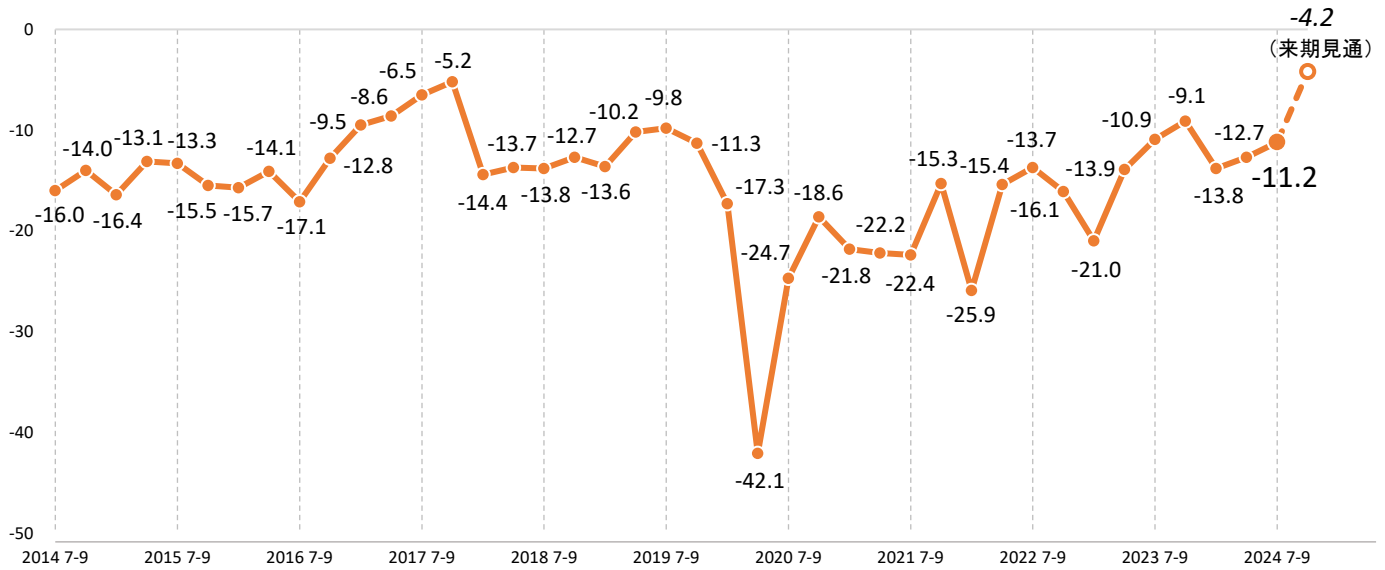
■好転 □不変 ■悪化

IV. 資金繰り

1. 今期

前年同期比

(2023年7~9月期の水準と比較した今期の資金繰り)



業種別D・I値

	今回		内訳		前回
	▲	%		%	
全業種	▲ 11.2	6.5%	75.8%	17.7%	▲ 12.7
製造	▲ 17.2	5.2%	72.4%	22.4%	▲ 16.9
建設	▲ 10.9	5.5%	78.1%	16.4%	▲ 9.7
卸売	▲ 7.5	5.7%	81.1%	13.2%	▲ 12.3
小売	▲ 8.8	8.8%	73.6%	17.6%	▲ 15.9
サービス	▲ 11.5	7.3%	73.9%	18.8%	▲ 8.4

■好転 □不変 ■悪化

2. 来期

前年同期比

(2023年10~12月期の水準と比較した来期の見通し)

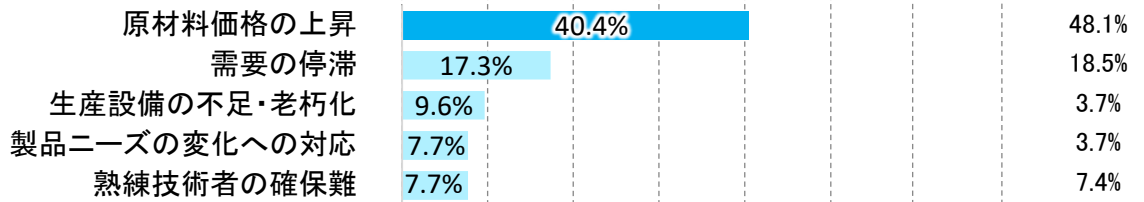
業種別D・I値

	今回		内訳		前回
	▲	%		%	
全業種	▲ 4.2	7.7%	80.4%	11.9%	▲ 6.6
製造	▲ 9.0	8.9%	73.2%	17.9%	▲ 5.5
建設	▲ 2.8	8.3%	80.6%	11.1%	▲ 4.3
卸売	0.0	5.7%	88.6%	5.7%	▲ 10.5
小売	▲ 3.0	9.1%	78.8%	12.1%	▲ 5.9
サービス	▲ 6.4	6.4%	80.8%	12.8%	▲ 6.5

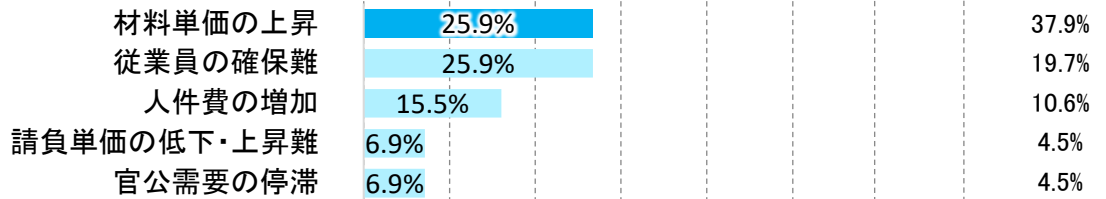
■好転 □不変 ■悪化

V. 経営上の問題点(上位5項目)

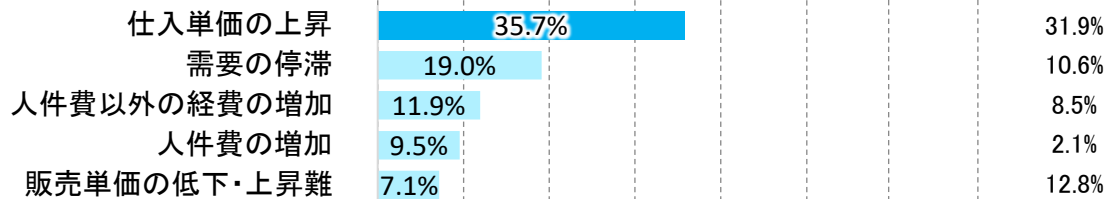
製造業



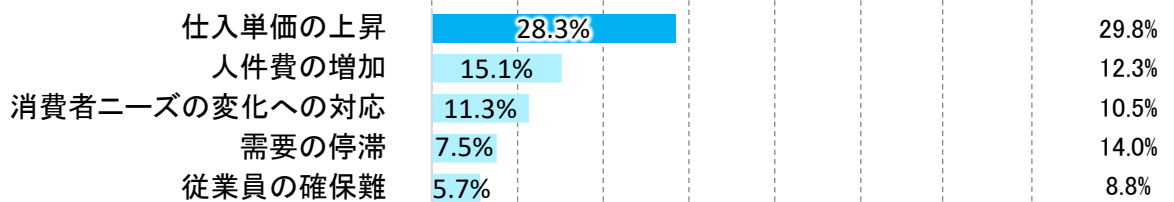
建設業



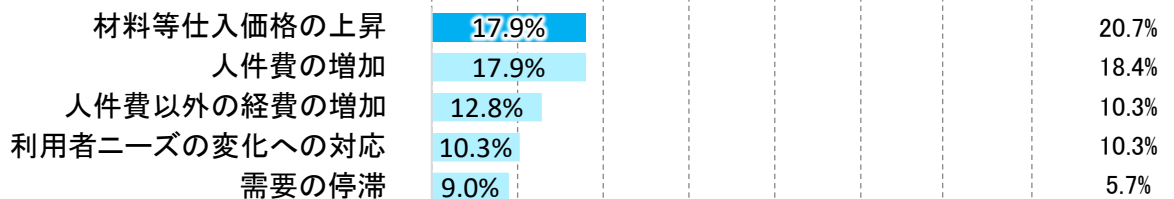
卸売業



小売業



サービス業



VI. 従業員の動向

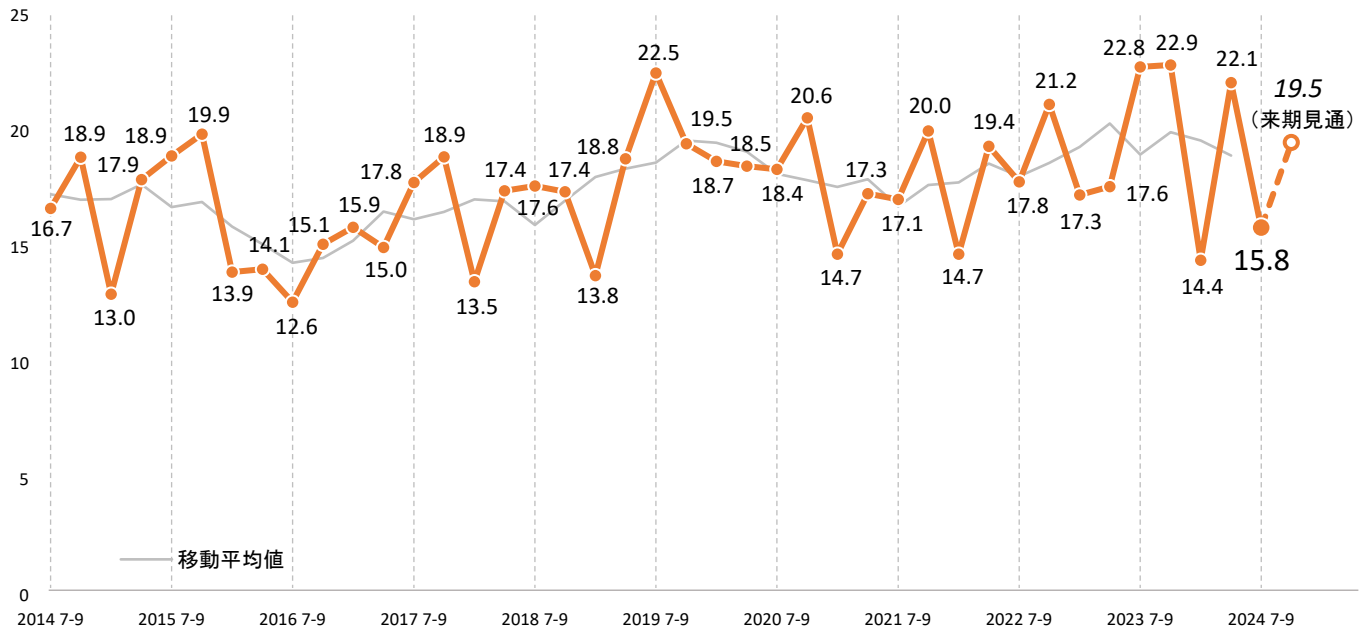
業種別D・I値

業種	今回		内訳		前回
	増減	変化率	過剰	不足	
全業種	▲ 31.9	1.3%	65.5%	33.2%	▲ 24.5
製造	▲ 31.5	3.7%	61.1%	35.2%	▲ 23.7
建設	▲ 46.4	1.4%	50.8%	47.8%	▲ 40.3
卸売	▲ 30.4	0.0%	69.6%	30.4%	▲ 26.4
小売	▲ 24.2	0.0%	75.8%	24.2%	▲ 8.9
サービス	▲ 27.0	1.2%	70.6%	28.2%	▲ 23.6

■ 過剰 □ 適正 ■ 不足

VII. 新規設備投資

新規設備投資実施の動向(全業種平均%)



1. 今期

(単位%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施した	15.8	22.4	16.4	10.9	13.0	16.5
土地	2.9	0.0	8.3	0.0	0.0	6.3
工場建物、建物、店舗	11.0	15.4	16.7	16.7	0.0	6.3
生産・販売・サービス設備、建設機械	38.3	46.2	8.3	50.0	55.6	31.3
車両運搬具	33.5	30.8	33.3	50.0	22.2	31.3
倉庫・駐車場等の付帯施設	13.5	23.1	8.3	0.0	11.1	25.0
OA機器	30.2	23.1	41.7	50.0	11.1	25.0
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4.3	15.4	0.0	0.0	0.0	6.3
実施していない	84.2	77.6	83.6	89.1	87.0	83.5

2. 来期

(単位%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施する	19.5	31.0	17.8	9.1	23.2	16.5
土地	2.4	5.6	0.0	0.0	0.0	6.3
工場建物、建物、店舗	8.1	0.0	15.4	0.0	12.5	12.5
生産・販売・サービス設備、建設機械	23.4	38.9	15.4	0.0	31.3	31.3
車両運搬具	35.3	11.1	61.5	60.0	6.3	37.5
倉庫・駐車場等の付帯施設	6.9	22.2	0.0	0.0	0.0	12.5
OA機器	30.7	27.8	30.8	20.0	31.3	43.8
厚生施設	2.7	5.6	7.7	0.0	0.0	0.0
その他	9.3	0.0	7.7	20.0	18.8	0.0
実施しない	80.5	69.0	82.2	90.9	76.8	83.5

製造業

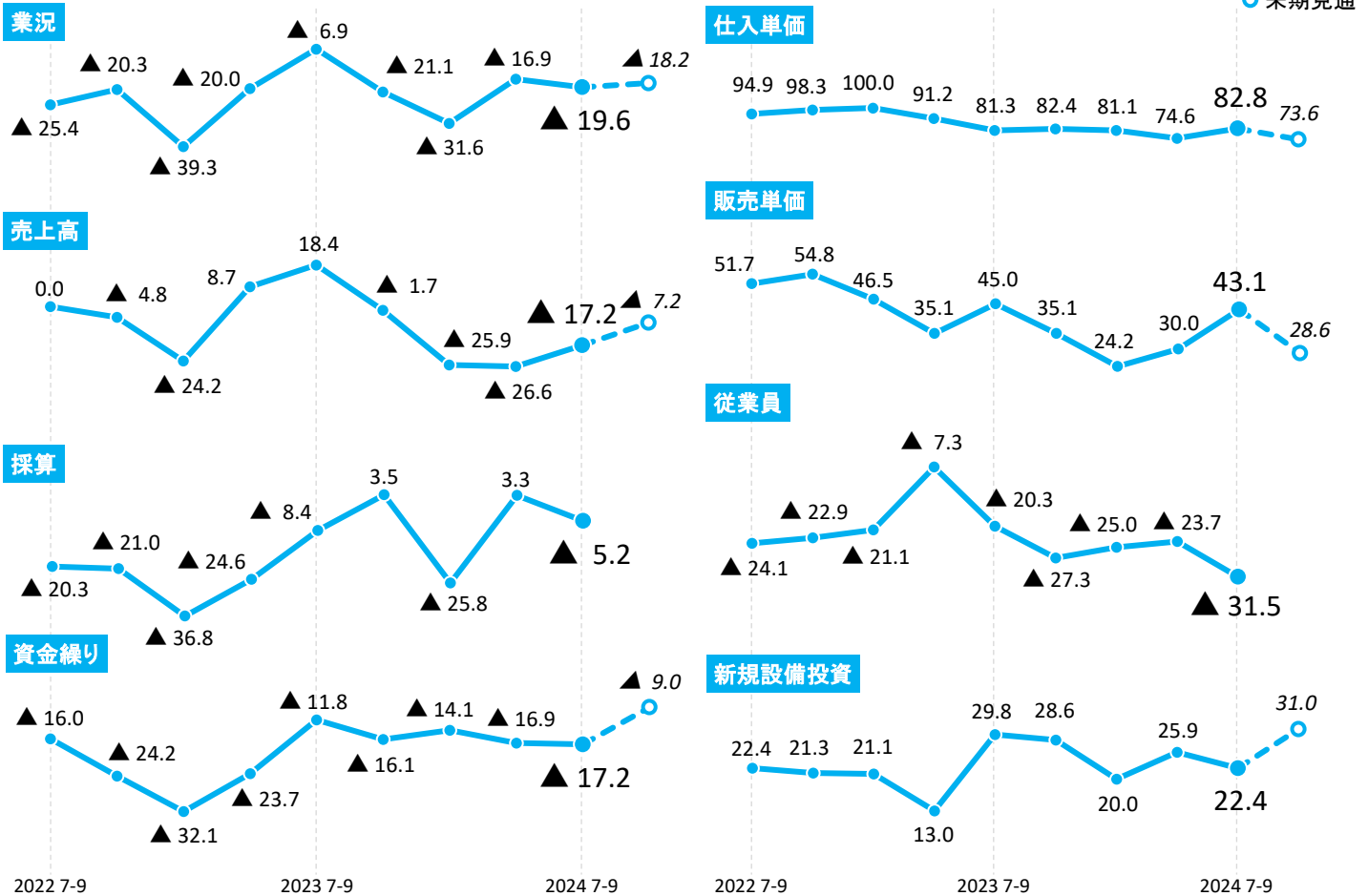
■主なコメント

- ・新規物件の受注が重なり、順調な滑り出しとなったが、原価も全てにわたり上昇している。出張が多いので宿泊費の高騰は本当に厳しい。
(プラント設計施工業)
- ・金利が上昇傾向にあり、金融機関からの調達金利がどの程度上昇するのか不安を感じている。取引銀行からは、ベースレート見直しの打診もあった。大型の設備投資を実施予定だが、収益を圧迫する可能性もある。
(自動車・同付属品製造業)
- ・近年、組合で3社が廃業したが、大きな引き金となったのはインボイス制度。事務作業が煩雑になることをきっかけに、年配の事業者が廃業した。仕事は業界全体で減っており、域外での仕事が増えている。
(木工業)

■D・I

	2022 7-9	2022 10-12	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 25.4	▲ 20.3	▲ 39.3	▲ 20.0	▲ 6.9	▲ 21.1	▲ 31.6	▲ 16.9	▲ 19.6	▲ 18.2
売上高 (前年同期比)	0.0	▲ 4.8	▲ 24.2	8.7	18.4	▲ 1.7	▲ 25.9	▲ 26.6	▲ 17.2	▲ 7.2
採算 (今期の経常損益)	▲ 20.3	▲ 21.0	▲ 36.8	▲ 24.6	▲ 8.4	3.5	▲ 25.8	3.3	▲ 5.2	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 16.0	▲ 24.2	▲ 32.1	▲ 23.7	▲ 11.8	▲ 16.1	▲ 14.1	▲ 16.9	▲ 17.2	▲ 9.0
仕入単価 (前年同期比)	94.9	98.3	100.0	91.2	81.3	82.4	81.1	74.6	82.8	73.6
販売単価 (前年同期比)	51.7	54.8	46.5	35.1	45.0	35.1	24.2	30.0	43.1	28.6
従業員 (今期の過不足)	▲ 24.1	▲ 22.9	▲ 21.1	▲ 7.3	▲ 20.3	▲ 27.3	▲ 25.0	▲ 23.7	▲ 31.5	-
新規設備投資した割合	22.4	21.3	21.1	13.0	29.8	28.6	20.0	25.9	22.4	31.0

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



建設業

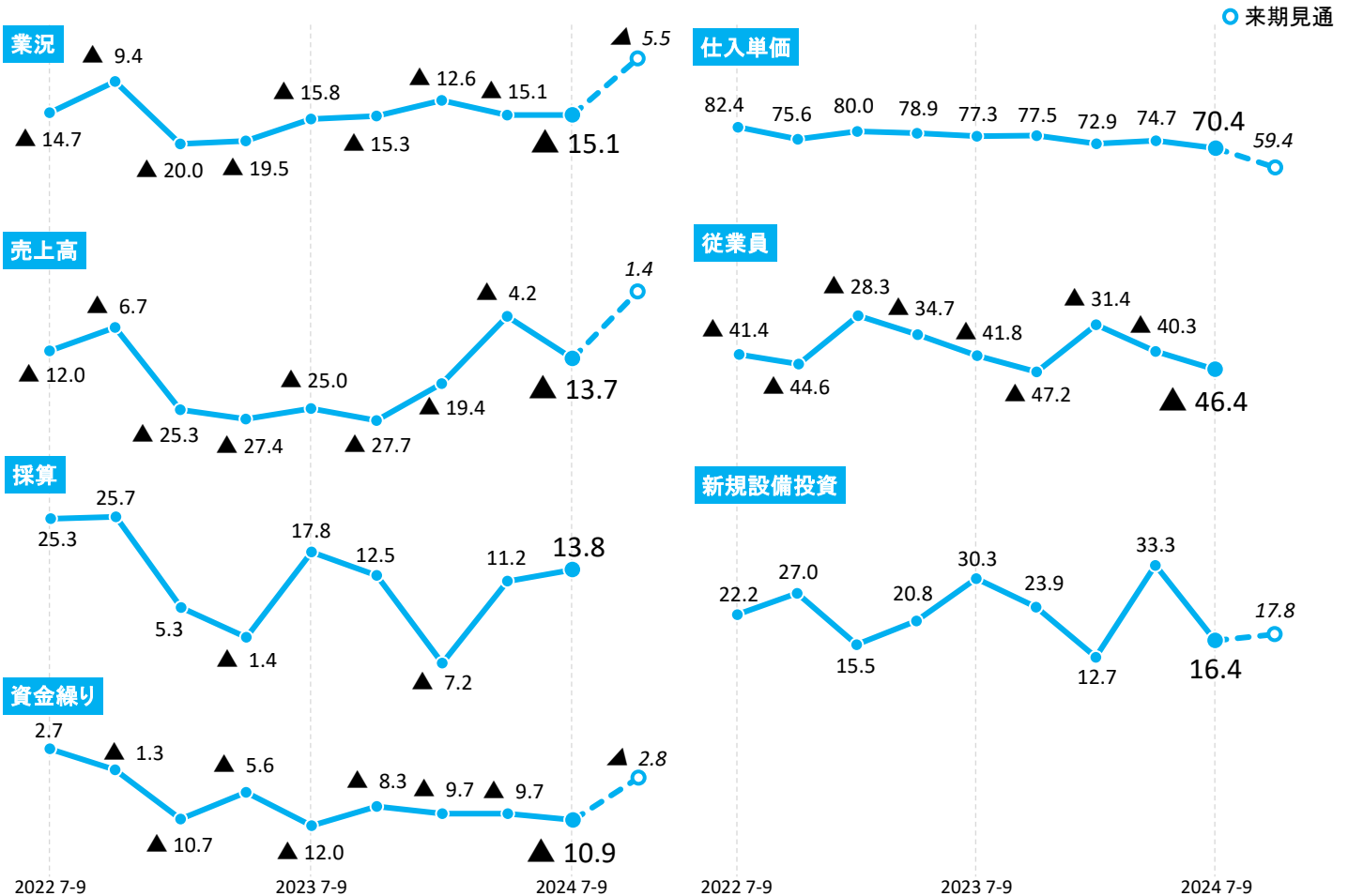
■主なコメント

- ・官庁工事では前払金が40%あるが、民間工事では着工時10%となるケースが多い。金利も上昇するので、資金繰りのため民間工事においても前払金、中間金の支払いを交渉していく予定。 (ゼネコン)
- ・日本人の採用ができないため、今年から外国人労働者(ベトナム)を2名雇用している。宿舍を建てた他、派遣元への支払が毎月かかるが、それでも採用してよかった。単語での日常会話は問題なく、日々成長し戦力となっている。 (板金工事業)
- ・人手不足、特に現場作業員の不足が続いており、施工の進展に影響が出ている。 (防水工事業)

■D・I

	2022 7-9	2022 10-12	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 14.7	▲ 9.4	▲ 20.0	▲ 19.5	▲ 15.8	▲ 15.3	▲ 12.6	▲ 15.1	▲ 15.1	▲ 5.5
売上高 (前年同期比)	▲ 12.0	▲ 6.7	▲ 25.3	▲ 27.4	▲ 25.0	▲ 27.7	▲ 19.4	▲ 4.2	▲ 13.7	1.4
採算 (今期の経常損益)	25.3	25.7	5.3	▲ 1.4	17.8	12.5	▲ 7.2	11.2	13.8	-
資金繰り (前年同期比)	2.7	▲ 1.3	▲ 10.7	▲ 5.6	▲ 12.0	▲ 8.3	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 10.9	▲ 2.8
仕入単価 (前年同期比)	82.4	75.6	80.0	78.9	77.3	77.5	72.9	74.7	70.4	59.4
販売単価 (前年同期比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
従業員 (今期の過不足)	▲ 41.4	▲ 44.6	▲ 28.3	▲ 34.7	▲ 41.8	▲ 47.2	▲ 31.4	▲ 40.3	▲ 46.4	-
新規設備投資した割合	22.2	27.0	15.5	20.8	30.3	23.9	12.7	33.3	16.4	17.8

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



卸売業

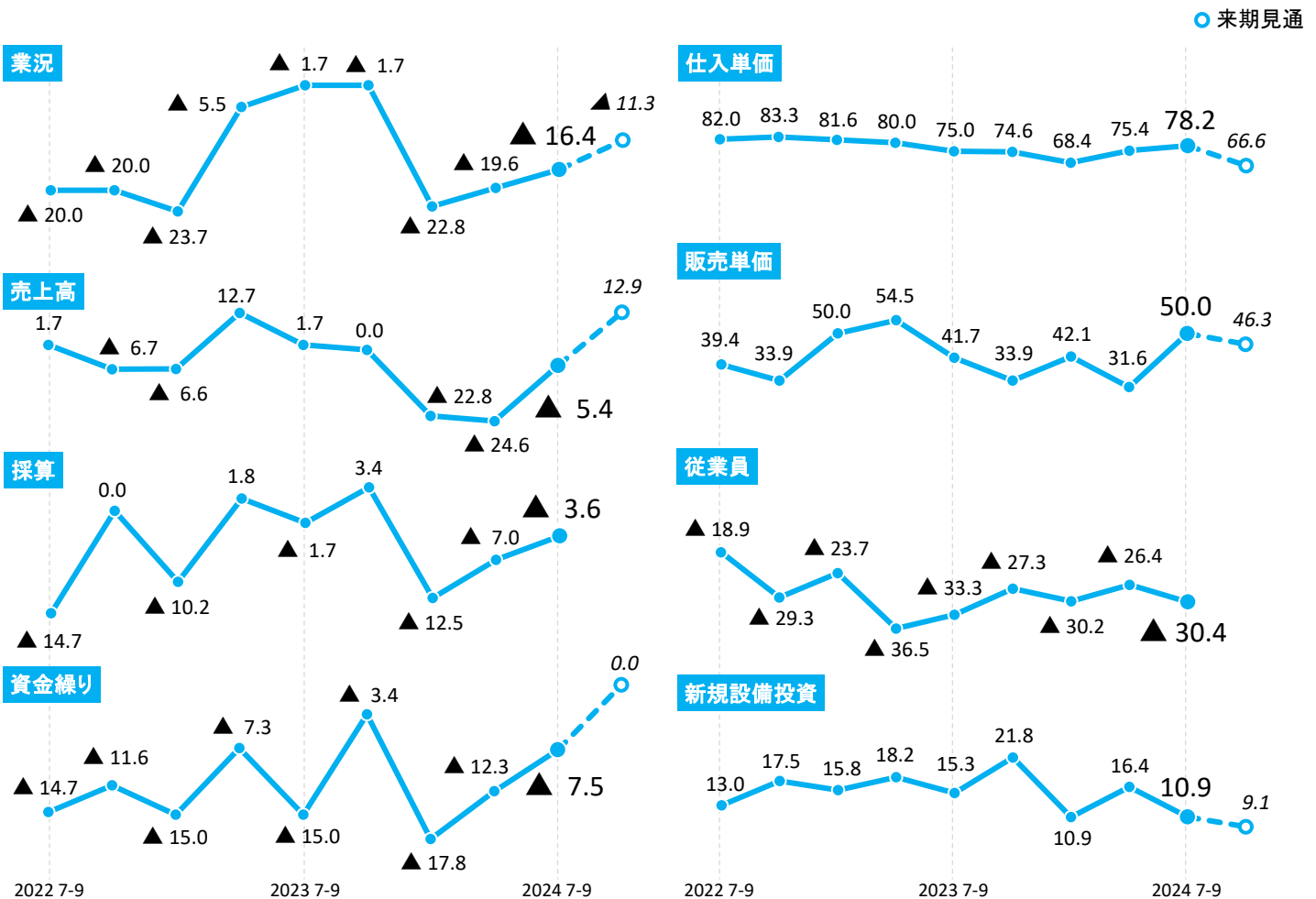
■主なコメント

- ・人件費だけでなく保険料、車・ソフトウェアのリース料、エネルギー料金等、会社経営をする上での必要不可欠なコストが全て値上がりしている。今後、経常利益を圧迫する可能性が高く、非常に不安。
(機械・器具卸売業)
- ・人手不足や雇用についての現状としては、鋭意採用活動を行い応募者も一定程度あるものの、当社の求める人材には出会えないという状況が続いている。
(梱包資材等卸売業)
- ・価格改定による売上高の上昇はあったが、利益が追いつかない状況。戸建の塗替は3年前から緩やかに下降している。
(化学製品卸売業)

■D・I

	2022 7-9	2022 10-12	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 23.7	▲ 5.5	▲ 1.7	▲ 1.7	▲ 22.8	▲ 19.6	▲ 16.4	▲ 11.3
売上高 (前年同期比)	1.7	▲ 6.7	▲ 6.6	12.7	1.7	0.0	▲ 22.8	▲ 24.6	▲ 5.4	12.9
採算 (今期の経常損益)	▲ 14.7	0.0	▲ 10.2	1.8	▲ 1.7	3.4	▲ 12.5	▲ 7.0	▲ 3.6	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 14.7	▲ 11.6	▲ 15.0	▲ 7.3	▲ 15.0	▲ 3.4	▲ 17.8	▲ 12.3	▲ 7.5	0.0
仕入単価 (前年同期比)	82.0	83.3	81.6	80.0	75.0	74.6	68.4	75.4	78.2	66.6
販売単価 (前年同期比)	39.4	33.9	50.0	54.5	41.7	33.9	42.1	31.6	50.0	46.3
従業員 (今期の過不足)	▲ 18.9	▲ 29.3	▲ 23.7	▲ 36.5	▲ 33.3	▲ 27.3	▲ 30.2	▲ 26.4	▲ 30.4	-
新規設備投資した割合	13.0	17.5	15.8	18.2	15.3	21.8	10.9	16.4	10.9	9.1

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



小売業

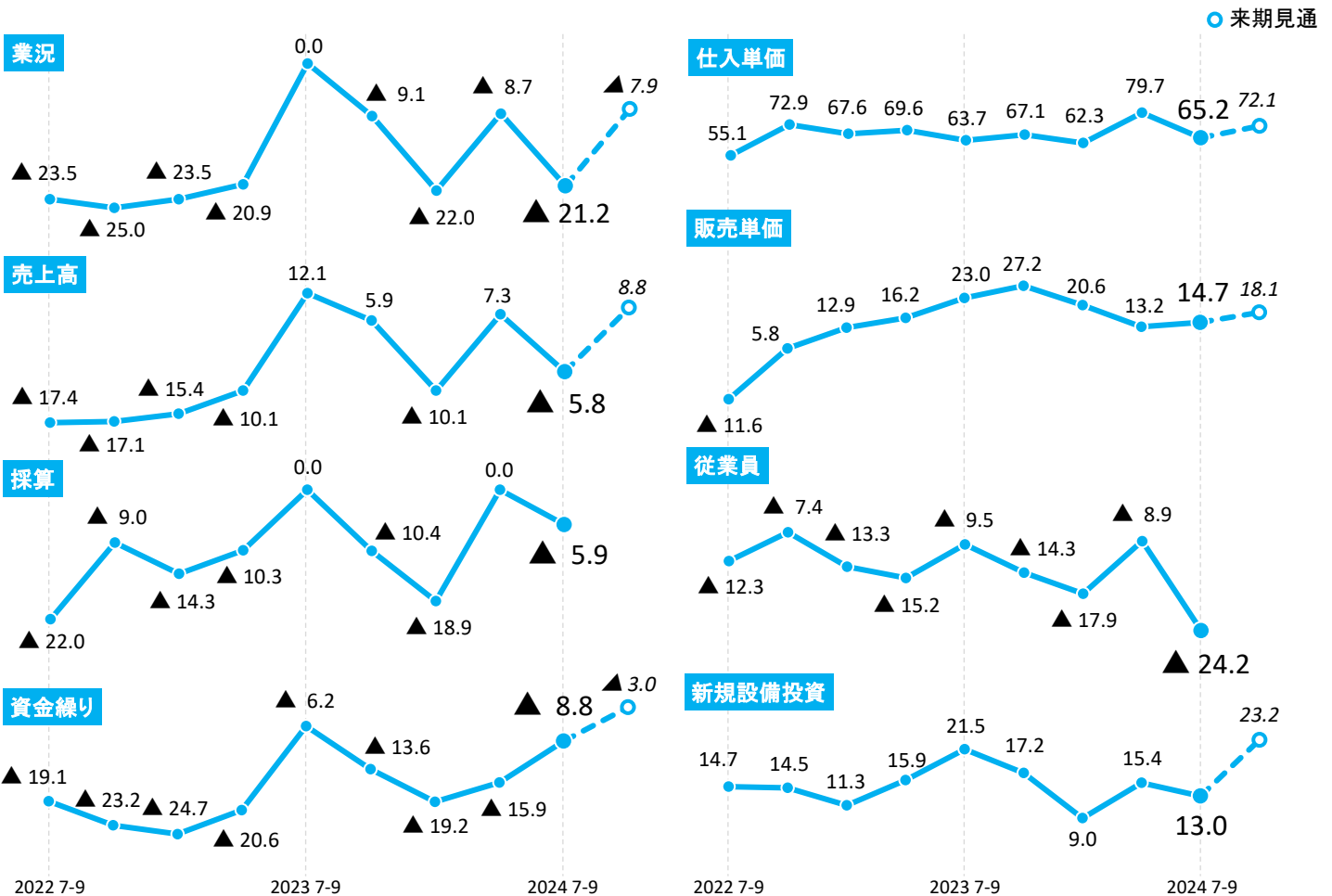
■主なコメント

- ・物価高騰の影響でお客様の消費意欲低下が続き、街中の買い物客が非常に少なく寂しい。仕入価格も徐々に上がっているが販売価格を上げることは避けたいと思っている。
(商店街)
- ・人手不足が見込まれるため、販売在庫を増やすことができず悩んでいる。雇用についても人件費、社会保険料などの高騰があるため、思い切った動きができない。
(中古車販売業)
- ・家電販売は、すでに製品が飽和状態。買い替え需要では売上増加の期待ができないことから、新たな事業展開をすることを決め、融資を受けることにした。今は良い補助金がないか探している。
(家電小売業)

■D・I

	2022 7-9	2022 10-12	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 23.5	▲ 25.0	▲ 23.5	▲ 20.9	0.0	▲ 9.1	▲ 22.0	▲ 8.7	▲ 21.2	▲ 7.9
売上高 (前年同期比)	▲ 17.4	▲ 17.1	▲ 15.4	▲ 10.1	12.1	5.9	▲ 10.1	7.3	▲ 5.8	8.8
採算 (今期の経常損益)	▲ 22.0	▲ 9.0	▲ 14.3	▲ 10.3	0.0	▲ 10.4	▲ 18.9	0.0	▲ 5.9	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 19.1	▲ 23.2	▲ 24.7	▲ 20.6	▲ 6.2	▲ 13.6	▲ 19.2	▲ 15.9	▲ 8.8	▲ 3.0
仕入単価 (前年同期比)	55.1	72.9	67.6	69.6	63.7	67.1	62.3	79.7	65.2	72.1
販売単価 (前年同期比)	▲ 11.6	5.8	12.9	16.2	23.0	27.2	20.6	13.2	14.7	18.1
従業員 (今期の過不足)	▲ 12.3	▲ 7.4	▲ 13.3	▲ 15.2	▲ 9.5	▲ 14.3	▲ 17.9	▲ 8.9	▲ 24.2	-
新規設備投資した割合	14.7	14.5	11.3	15.9	21.5	17.2	9.0	15.4	13.0	23.2

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



サービス業

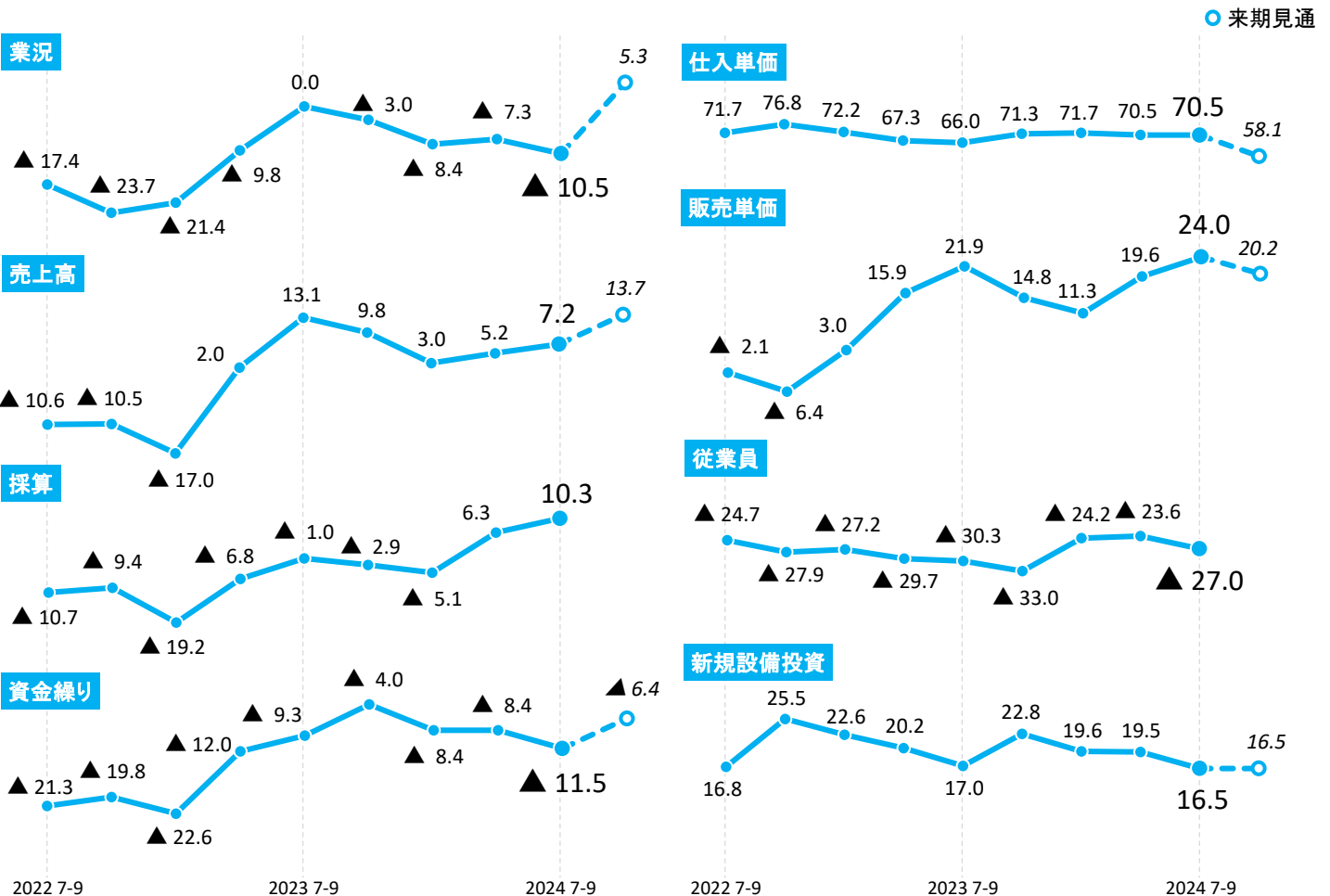
■主なコメント

- ・IT導入補助金を活用し、セルフレジを導入したが、補助金の入金まで約10か月かかった。同業者の多くが個人事業主だが個人で抱えてしまうと半年も耐えられないような額の投資となるため、補助金利用もためらわれそうに感じる。 (飲食業)
- ・乗務員不足に加え、2024年問題の影響で顧客の需要に応じることができず、会社・社員ともに収入減となっている。仕入れコストの高騰も続き原資がない中「賃上げが当たり前」という世論が先行し、経営側としてはやり切れない。 (貸切バス業)
- ・近い将来(1~2年後)人手不足が影響して業務の遂行が困難になるおそれがある。
(運輸に付随するサービス業)

■D・I

	2022 7-9	2022 10-12	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 17.4	▲ 23.7	▲ 21.4	▲ 9.8	0.0	▲ 3.0	▲ 8.4	▲ 7.3	▲ 10.5	5.3
売上高 (前年同期比)	▲ 10.6	▲ 10.5	▲ 17.0	2.0	13.1	9.8	3.0	5.2	7.2	13.7
採算 (今期の経常損益)	▲ 10.7	▲ 9.4	▲ 19.2	▲ 6.8	▲ 1.0	▲ 2.9	▲ 5.1	6.3	10.3	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 21.3	▲ 19.8	▲ 22.6	▲ 12.0	▲ 9.3	▲ 4.0	▲ 8.4	▲ 8.4	▲ 11.5	▲ 6.4
仕入単価 (前年同期比)	71.7	76.8	72.2	67.3	66.0	71.3	71.7	70.5	70.5	58.1
販売単価 (前年同期比)	▲ 2.1	▲ 6.4	3.0	15.9	21.9	14.8	11.3	19.6	24.0	20.2
従業員 (今期の過不足)	▲ 24.7	▲ 27.9	▲ 27.2	▲ 29.7	▲ 30.3	▲ 33.0	▲ 24.2	▲ 23.6	▲ 27.0	-
新規設備投資した割合	16.8	25.5	22.6	20.2	17.0	22.8	19.6	19.5	16.5	16.5

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



VIII. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 2024年9月
(2) 調査対象期間 2024年7～9月期実績及び2024年10～12月期見通し

2. 調査対象

(1) 中小企業景況調査

「製造業」、「建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、
「卸売業」については、資本金1億円以下、または従業員100人以下の企業、
「小売業」については、資本金5千万円以下、または従業員50人以下の企業、
「サービス業」については、資本金5千万円以下、または従業員100人以下の企業を対象とした。

来期は新;

(2) 業界動向調査

道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。
また、各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施(中小企業景況調査)
全道商工会議所を通じて地域の業界・組合等へヒアリング調査を実施(業界動向調査)

4. 業種別・規模別回答状況(社数)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	43	57	37	59	69	265
中規模	15	16	18	10	28	87
合計	58	73	55	69	97	352
構成比	16.5%	20.7%	15.6%	19.6%	27.6%	100.0%

〈業界動向調査〉

ヒアリング先

製造業 40社、建設業 34社、卸売業 23社、
小売業 29社、サービス業 44社 合計 170社

■過去の調査結果はコチラ



【URL】 <https://www.hokkaido.cci.or.jp/demand/research/>

D・Iとは…

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)企業割合を差引いた値(景気動向指数)を示す。